

《注意事項》

- ▼ 演者の持ち時間は発表 14 分、質疑応答 1 分の計 15 分。時間厳守をお願いします。
 - ▼ 遠方の演者など当日順番差し替えの場合あり。ご了承ください。
 - ▼ 発表者は抄録を 2,200 字以内で提出ください。締切は学術集会開催日より 30 日後です。『醫譚』に掲載します。掲載時費用を負担頂くことはございませんが、2,200 字を超える場合は追加料金をお願いしています。2,200 字は 1 頁 3 段組の編集でおよそ 2 頁分です。追加料金は 1 段つまり 1 / 3 頁毎につき 1,000 円になります。
- 絵図など多い人には『醫譚』への完全投稿を期待します。この場合は『醫譚』
- 「投稿規定」をお読み下さい。
- ▼ 発表はパワーポイントに限りです。データは事前に事務局へ送付か当日受付へ。紙資料の配布は 40 部、原則当日持参ですが、困難なら予めご相談ください。
 - ▼ 施設内飲食可能。懇親会はありません。

<連絡先>

日本医史学会関西支部事務局

〒581-0003 大阪府八尾市本町 5-1-7 田中医院内

FAX 072-993-1237

事務局長携帯 090-5669-8213

E-mail: sachio-tanaka@umin.ac.jp

<お願い>

会員名簿整備のため氏名・住所・所属・電話番号・E-mail アドレスを事務局(sachio-tanaka@umin.ac.jp)までお送り下さい。

E-mail アドレスが不明な方が多数おられますのでご協力お願いします。

また、新規会員のご紹介等よろしくお願いいたします。

日本医史学会関西支部 2026 年 総会・学術集会

日 時 令和 8 年 11 月 29 日(日)

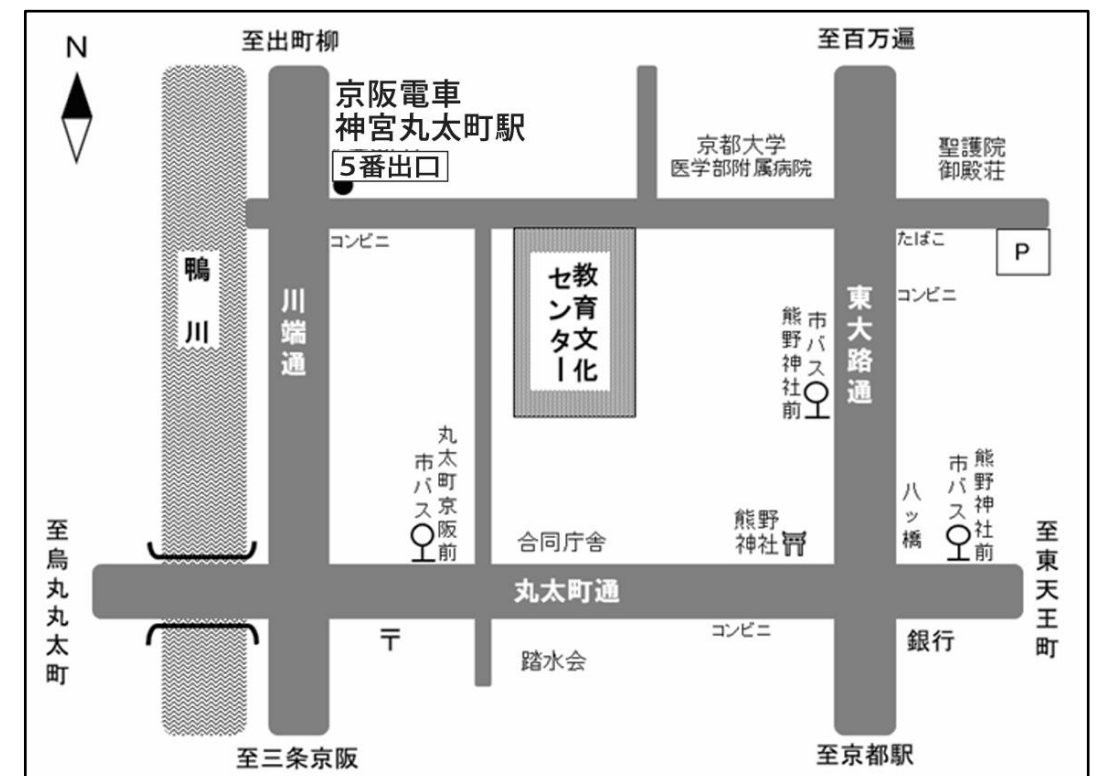
受付 午前 9 時 開演 午前 9 時 20 分

会 場 京都教育文化センター301 号室

〒606-8397 京都市左京区聖護院川原町 4-13

☎ 075-771-4221 <http://kyoto-kyobun.jp/>

参加費 2,000 円 学生院生 無料



主 催／日本医史学会関西支部

共 催／日本医史学会、太田家史料研究会、岡山医学史研究会

プ ロ グ ラ ム（敬称略）		
9 時 20 分	《一般演題》	— 座長 — 三鬼丈知
1. 日本における打膿の展開－経過報告パート5－ 谷田保啓（愛知県）		
2. 加賀藩の医療と鍼灸 高橋正子（愛知県）		
3. フレザー著『实用看護法』序文（明治29年）にみる後藤新平の看護観 平尾真智子（京都府）		
4. 文化5年の解剖記録・補遺 西嶋佑太郎（京都府）		
5. 田村藍水著『甘蔗造製傳』にみる白砂糖国産化への技術的支援 今井秀（大阪府）		
10 時 40 分		— 座長 — 今井秀
6. 箕作阮甫と『泰西名醫彙講』 相川忠臣（長崎県）		
7. ルネサンス期（14－16世紀）に医学が急速に発達した経緯 木村丹（岡山県）		
8. 運氣篇の条文は前漢まで遡れる条文である ○松岡尚則（高知県）、永塚憲治（北海道）、安部郁子（神奈川県）		
9. 『紫閨秘書』その資料性について 永塚憲治（北海道）		
11 時 40 分	日本医史学会関西支部総会	
支部長挨拶		猪飼祥夫
『醫譚』賞授与式		
—— 昼休み ——		

13 時 00 分	《特別講演》	— 座長 — 猪飼祥夫
秦漢時代の本草と仙薬について 横浜商科大学 教養教育センター 教授 久保輝幸 先生		
14 時 10 分		— 座長 — 西嶋佑太郎
10. 新出緒方拙斎資料 ○福田安典（東京都）、宮本祐規子（大阪府）		
11. エルウィン・ベルツの医学形成過程 ーライブツィヒでの博士論文と1872年ウィーン研修を中心にー 山上勝久（大阪府）		
12. 『鈴録外書』と医療 西巻明彦（東京都）		
13. 新出・島浦益一書簡と當道座の鍼灸史 木戸麻希子（栃木県）		
15 時 15 分		— 座長 — 島山奈緒子
14. 大正時代の経穴調査会と経穴存廃論について 松木宣嘉（香川県）		
15. 大和国五條の風流医・小林金芝 関屋成彰（京都府）		
16. 「医食同源」という言葉をめぐってー和製漢語説の再検討ー 向静静（京都府）		
17. 片山元儒の『腹診伝法』と『童観割記』医学類について 長野仁（兵庫県）		
18. 『外経微言』の構成について 猪飼祥夫（京都府）		
16 時 30 分	閉会の辞	支部長 猪飼祥夫